

## 嘉穂アルプス縦走

高津 美佳

又、無謀な申込をしてしまった。“英彦山峰入り道トレイル”。コースは、秋月→古処山→馬見山→嘉麻峠→大日ヶ岳→宝珠山→岩屋登山口（距離 34.5 ㎞・累計標高 3600m・制限時間 11 時間）。多良岳を思い出す。とにかく試走をしなければという事で、前半コースに行ってみた！

まずは、スタート地点の秋月まで行かなければ・・・黒崎駅から JR で基山駅までいく。そして、初めて乗車する甘木鉄道で甘木駅に。そこからは、バスで秋月まで行く。・・・遠い・・・遠すぎる・・・乗り継ぎも含めて 3 時間。

秋月城下町は紅葉にはまだ早いので人はいない。登山口の看板、九州自然歩道、スタート！なだらかな登りの遊歩道を行き、川沿いを歩く。途中で林道と合流。駐車場があるのでここまでは車で来れるようだ。さらに山道を登ると古処山頂に到着 (860m)。立派なお社がある。そして、遊人の杜と書いてある立て札を見て、古処山キャンプ場に着いた。まだ新しくきれいなコテージが並んでいて、家族連れが泊まっている様子。管理棟があり、中に売店があって、そのケースの中に冷えた缶ビールが見える。全員一致で呑む。美味しい。今日は 10 月とは思えない陽気なので、汗びっしょりの身体にしてみる。

再出発。ここからは急な岩登り。奥の院という危険な岩場をよじ登ったら、大将隠し、という不思議な岩の空間がある。大将とは戦国時代の秋月氏の殿様のことだそう。そして、屏山 (へいざん) (927m) 到着。ここだけは登山客がいっぱい。嘉麻方面の展望が楽しめた。そして、江川岳へ。そこから 300m くらい下って、又 300m くらい登ったら、馬見山 (978m) に到着。誰もいないが眺めは良い。天気が良ければ長崎の雲仙まで見えると書いてある。

さて、ここからは苦手な下り。嘉麻峠までは 4.5 キロくらい。突然、ぎゃーという声。ガサガサする。シカがいたみたい。そういえば、いたるところで樹の皮がめくれている。シカのせい？ 恐怖の下りの連続。冷や汗をかきながら、やっと R211 に出る。小石原に到着。陶器のお店は、がらんとした誰もいない様子。道の駅まで歩いていくと意外に観光客がいっぱい。バスが 2 時間ないのでタクシーで添田駅に行く。ところが駅の近くに空いている店はない。仕方ないので公園のベンチで乾杯！ ビールはどこで呑んでも美味しい～～。

16.8 キロを 6 時間かかった、本番はあと半分ある、ちょっと、きびしいかも・・・。

